

# 岩国錦帯橋 渡橋証明

平成 年 月 日

No.

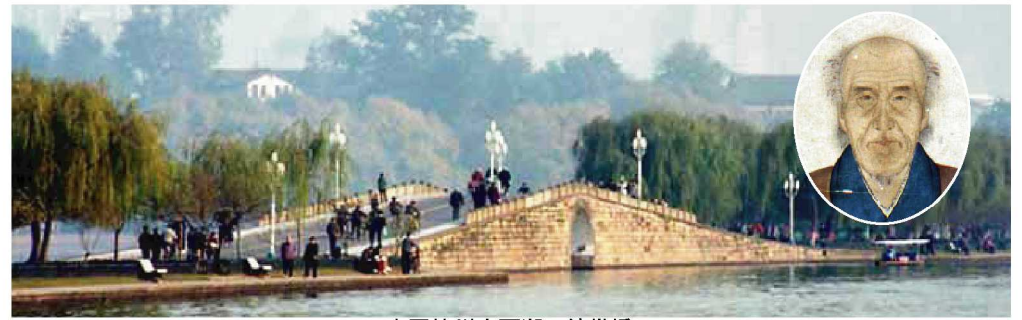
# 橋縁



僧独立の印

kintaikyo.com

錦帯橋渡橋記念



中国杭州市西湖の錦帯橋

本日は錦帯橋をお渡りいただき誠にありがとうございました。本証明書は錦帯橋をお渡りになった記念としてkintaikyo.comが特別に発行するものです。未来に幸せを架ける錦帯橋との『橋縁』をこれからも大切にしてください。

■錦帯橋と僧独立の三二事典（創建1673年 平成の架替完成2004年）

錦帯橋は世界中でもその姿が華麗で周囲の景観とも実に調和している橋です。またその工学的、力学的特性は大変優れ、1600年代の技術作品あるいは芸術作品として世界に誇れるものです。しかも、創建当時の作者の意図をたくみに今日に伝えた技術伝承の実態はまさに驚くべきものです。これらを総合すると錦帯橋は世界遺産に相当します。

ところで、この錦帯橋が国際交流の証であることをご存じでしょうか…。

三代藩主吉川広嘉公と中国杭州からの僧独立（1596－1672）との親交はまさに医学、工学、芸術、文化、等々多岐にわたる国際交流であり、その様子は後世に伝えられています。とりわけ、錦帯橋のヒントを得たと言われている『西湖遊覧志』の僧独立からの紹介は広嘉公と今日の岩国に決定的な運命を与えました。

その結果、岩国の錦帯橋は1673年に創建されました。しかし、それを遡ること84年の1589年には中国杭州の西湖に錦帯橋と命名された橋が完成され、その名は今日にまで受け継がれています。橋の姿形は異なっていますが、同名の橋が三、四百年の歳月を共に生き抜いていることに、偉大なる『橋縁』を感じます。両国の永年の交流が実り、2004年11月6日に両錦帯橋は晴れて友好橋（姉妹橋）の調印がなされました。

錦帯橋誕生の父とも言える僧独立の『遺世独立』という印の実物を岩国徴古館にてご覧ください。

■独立の肖像画は長崎市立博物館所蔵 ■独立の印『遺世独立』は岩国徴古館所蔵 ■書 正木嗣鵬



錦帯橋とカテナリー（懸垂線）写真は第3橋架替時